

災害時に困らない下水道整備を

横浜市会議員 伏見ゆきえ



伏見ゆきえ

2015年に横浜市会議員初当選。現在3期目。

連絡事務所 / 〒244-0816 戸塚区上倉田町
390-1表ビル1-B ☎045・443・5757 / 045・
443・5671 / Facebookで日々の活動更新中!

能登半島地震から2カ

区内では、地域防災拠

水対策も喫緊の課題であ

月。本市職員も防災直後

において「下水道が被災し

点での災害時下水直結式

ることは言うまでもあり

から被災地に赴き、復たため、トイレを控えて

仮設トイレ、通称ハマツ

ません。

興・復旧活動に尽力して

コトイレの整備を推進

2022年、東京都防

おります。一日も早く被

中。さらに名瀬町では水

災会議で首都圏直下地震

災地で安心して生活がで

道総合地震対策計画に基

は、いつ起きてもおかし

きるよう、心からお祈り

づく「地域防災拠点の枝

くないと公表されまし

申上げます。

線管きよ」の耐震化を図

た。令和6年度の環境創

の早急な確保は、極めて

る下水道整備が進められ

造局予算の一つに「安

重要であると言えます。

ています。

集中豪雨への対策も

気候変動の影響による

現」が掲げられています。

集中豪雨の発生は毎年の

対策や地震対策が盛り込

ようにニュース等で報道

まれました。

されており、戸塚区も過

去に大きな浸水被害を受

り組んでいきます。

けています。現在、柏尾

川沿いに大規模な雨水幹

線を整備するため、設計

作業が進められています。

地震対策に加え、浸